

改善前（噴火警戒レベル 5 を想定した例）

火山名 霧島山（新燃岳） 噴火警報（居住地域）
平成 2 4 年〇月〇日〇〇時〇〇分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

（見出し）

<霧島山（新燃岳）に噴火警報（噴火警戒レベル 5、避難）を発表>
火砕流による被害が予想される居住地域（▲▲町△△地区）では厳重な警戒が必要。

<噴火警戒レベル 3（入山規制）から 5（避難）に引上げ>

（本文）

1. 火山活動の状況及び予報警報事項

新燃岳で、本日（〇日）〇時〇分頃、規模の大きな噴火が発生しました。噴煙高度は 5 0 0 0 m を超え、さらに上昇中です。

新燃岳の火山活動は極めて活発な状態が続いており、居住地域に達する火砕流の流下が切迫していると考えられますので、重大な被害が予想される▲▲町△△地区地区では厳重な警戒が必要です。

2. 対象市町村等

宮崎県：▲▲市、▲▲町
鹿児島県：▲▲市

3. 防災上の警戒事項等

火砕流の流下が切迫している居住地域では、厳重な警戒が必要です。

火口から概ね 4 km までの広い範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。2 0 1 1 年の噴火では、風に流されて直径 4 cm 程度の小さな噴石（火山れき）が新燃岳火口から 1 0 km を超えて降りました。

また、爆発的噴火に伴う大きな空振に注意が必要です。噴火警報等及び霧島山上空の風情報に注意してください。

降雨時には泥流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する情報に注意してください。

<噴火警戒レベル 3（入山規制）から 5（避難）に引上げ>

改善後（噴火警戒レベル 5 を想定した例）

火山名 霧島山（新燃岳） 噴火警報（居住地域）
平成 2 4 年〇月〇日〇〇時〇〇分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

（見出し）

<霧島山（新燃岳）に噴火警報（噴火警戒レベル 5、避難）を発表>
火砕流による被害が予想される居住地域（▲▲町△△地区）では厳重な警戒（●●等の対応）をしてください。

<噴火警戒レベル 3（入山規制）から 5（避難）に引上げ>

（本文）

1. 火山活動の状況及び予報警報事項

新燃岳で、本日（〇日）〇時〇分頃、規模の大きな噴火が発生しました。噴煙高度は 5 0 0 0 m を超え、さらに上昇中です。

新燃岳の火山活動は極めて活発な状態が続いており、居住地域に達する火砕流の流下が切迫していると考えられますので、重大な被害が予想される▲▲町△△地区では厳重な警戒（●●等の対応）をしてください。

2. 対象市町村等

以下の市町村では、当該居住地域で厳重な警戒（●●等の対応）をしてください。

宮崎県：▲▲町

以下の市町村では、火口周辺で警戒（〇〇等の対応）をしてください。

宮崎県：▲▲市

鹿児島県：▲▲市

3. 防災上の警戒事項等

火砕流の流下が切迫している居住地域では、厳重な警戒（●●等の対応）をしてください。

火口から概ね 4 km までの広い範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。2 0 1 1 年の噴火では、風に流されて直径 4 cm 程度の小さな噴石（火山れき）が新燃岳火口から 1 0 km を超えて降りました。

また、爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。気象台の発表する噴火警報や霧島山上空の風情報に留意してください。

降雨時には泥流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する情報に注意してください。

<噴火警戒レベル 3（入山規制）から 5（避難）に引上げ>

※噴火警戒レベル導入火山においては、避難などの対応が迅速かつ確実に実施されるよう、具体的な防災対応例を示す用語を記載する予定である。現在、“●●等の対応”については“避難等の対応”、“〇〇等の対応”については“入山規制等の対応”で検討中であるため、噴火警戒改善の開始時においては、噴火警戒レベル導入火山においても、噴火警戒レベル未導入火山と同じく、用語を記載しない書式（警報文例 3 参照）で運用を開始する。

改善前（噴火警戒レベル導入火山での警戒範囲を縮小の例）

火山名 霧島山（新燃岳） 噴火警報（火口周辺）
平成24年〇月〇日17時00分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

（見出し）

<霧島山（新燃岳）に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を切り替え>

新燃岳火口から概ね3kmの範囲で大きな噴石と火砕流に警戒が必要。

<噴火警戒レベル3（入山規制）が継続>

（本文）

1. 火山活動の状況及び予報警報事項

新燃岳は間欠的に噴火が発生しているものの最盛期の活動に比べ低下した状態で推移しており、爆発的噴火により大きな噴石が3kmを超えて飛散する可能性は低くなったと考えられます。

一方、新燃岳の北西数kmの地下深くのマグマだまりへのマグマの供給は続いており、また、マグマだまりから新燃岳へのマグマの上昇は断続的に続いていると推定されます。噴火活動は今後も続くと考えられますので、火口から概ね3kmの範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石と火砕流に警戒が必要です。

2. 対象市町村等

宮崎県：▲▲市、▲▲町

鹿児島県：▲▲市

3. 防災上の警戒事項等

火口から概ね3kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石と火砕流に警戒が必要です。

風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。2011年の噴火では、風に流されて直径4cm程度の小さな噴石（火山れき）が新燃岳火口から10kmを超えて降りました。

また、爆発的噴火に伴う大きな空振に注意が必要です。噴火警報等及び霧島山上空の風情報に注意してください。

降雨時には泥流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する情報に注意してください。

<噴火警戒レベル3（入山規制）が継続>

改善後（噴火警戒レベル導入火山での警戒範囲を縮小の例）

火山名 霧島山（新燃岳） 噴火警報（火口周辺）
平成24年〇月〇日17時00分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

（見出し）

<霧島山（新燃岳）に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を切り替え>

新燃岳火口から概ね3kmの範囲で大きな噴石と火砕流に警戒（〇〇等の対応）をしてください。

<噴火警戒レベル3（入山規制）が継続>

（本文）

1. 火山活動の状況及び予報警報事項

新燃岳は間欠的に噴火が発生しているものの最盛期の活動に比べ低下した状態で推移しており、爆発的噴火により大きな噴石が3kmを超えて飛散する可能性は低くなったと考えられます。

一方、新燃岳の北西数kmの地下深くのマグマだまりへのマグマの供給は続いており、また、マグマだまりから新燃岳へのマグマの上昇は断続的に続いていると推定されます。噴火活動は今後も続くと考えられますので、火口から概ね3kmの範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石と火砕流に警戒（〇〇等の対応）をしてください。

2. 対象市町村等

以下の市町村では、火口周辺で警戒（〇〇等の対応）をしてください。

宮崎県：▲▲市、▲▲町

鹿児島県：▲▲市

以下の市町村では、特段の警戒（〇〇等の対応）が必要なくなりました。

宮崎県：▲▲市、▲▲市

3. 防災上の警戒事項等

火口から概ね3kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石と火砕流に警戒（〇〇等の対応）をしてください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。2011年の噴火では、風に流されて直径4cm程度の小さな噴石（火山れき）が新燃岳火口から10kmを超えて降りました。

また、爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。気象台の発表する噴火警報や霧島山上空の風情報に留意してください。

降雨時には泥流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する情報に注意してください。

<噴火警戒レベル3（入山規制）が継続>

※噴火警戒レベル導入火山においては、避難などの対応が迅速かつ確に実施されるよう、具体的な防災対応例を示す用語を記載する予定である。現在、“〇〇等の対応”については“入山規制等の対応”で検討中であるため、噴火警報改善の開始時においては、噴火警戒レベル導入火山においても、噴火警戒レベル未導入火山と同じく、用語を記載しない書式（警報文例3参照）で運用を開始する。

改善前（噴火警戒レベル未導入火山での噴火警報の発表例）

火山名 ○○岳 噴火警報(居住地域)
平成24年○月○日○時○分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

** (見出し) **

<○○岳に噴火警報(居住地域嚴重警戒)を発表>
居住地域に重大な影響を及ぼす噴火が発生すると予想。
<火口周辺警報(入山危険)から噴火警報(居住地域嚴重警戒)に引上げ>

** (本文) **

1. 火山活動の状況及び予報警報事項

○○岳で、本日○時○分頃、××火口から噴火が発生しました。
噴火に伴い火砕流が発生し、○○岳北西側斜面の標高約1300m地点にある避難小屋付近まで達し、斜面の積雪が融けて泥流が発生しています。
噴煙は火口縁上5000mまで達しています。現在、○○岳の上空は北西の風が吹いており、風下側にあたる地域では降灰の影響が考えられます。

今後さらに噴火活動が活発化する可能性があり、その場合には、大規模な火砕流とそれに伴う融雪泥流が発生し、○○岳西側山麓の居住地域に到達する可能性がありますので警戒してください。

2. 対象市町村等

▲▲県：▲▲市、▲▲町、▲▲村
▲▲県：▲▲市

3. 防災上の警戒事項等

噴石の飛散、大規模な火砕流及び融雪泥流に警戒
風下側への降灰に注意

<火口周辺警報(入山危険)から噴火警報(居住地域嚴重警戒)に引上げ>

改善後（噴火警戒レベル未導入火山での噴火警報の発表例）

火山名 ○○岳 噴火警報(居住地域)
平成24年○月○日○時○分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

** (見出し) **

<○○岳に噴火警報(居住地域嚴重警戒)を発表>
居住地域に重大な影響を及ぼす噴火が発生すると予想。
<火口周辺警報(入山危険)から噴火警報(居住地域嚴重警戒)に引上げ>

** (本文) **

1. 火山活動の状況及び予報警報事項

○○岳で、本日○時○分頃、××火口から噴火が発生しました。
噴火に伴い火砕流が発生し、○○岳北西側斜面の標高約1300m地点にある避難小屋付近まで達し、斜面の積雪が融けて泥流が発生しています。
噴煙は火口縁上5000mまで達しています。現在、○○岳の上空は北西の風が吹いており、風下側にあたる地域では降灰の影響が考えられます。

今後さらに噴火活動が活発化する可能性があり、その場合には、大規模な火砕流とそれに伴う融雪泥流が発生し、○○岳西側山麓の居住地域に到達する可能性がありますので**嚴重な警戒**をしてください。

2. 対象市町村等

以下の市町村では、当該居住地域で**嚴重な警戒**をしてください。

▲▲県：▲▲町

以下の市町村では、**火口周辺**で警戒をしてください。

▲▲県：▲▲市、▲▲村

▲▲県：▲▲市

3. 防災上の警戒事項等

大規模な火砕流及び融雪泥流が達する可能性がある○○岳西側山麓の居住地域では、**嚴重な警戒**をしてください。

噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

<火口周辺警報(入山危険)から噴火警報(居住地域嚴重警戒)に引上げ>

※噴火警戒レベル導入火山においては、避難などの対応が迅速かつ的確に実施されるよう、具体的な防災対応例を示す用語を記載する予定であるが（警報文例1や警報文例2を参照）、噴火警戒レベル未導入火山においては、これらの用語は記載しない。

また、これらの用語については、現在“●●等の対応”については“避難等の対応”、“○○等の対応”については“入山規制等の対応”で検討中であるため、噴火警報改善の開始時においては、噴火警戒レベル導入火山においても、噴火警戒レベル未導入火山と同じく、用語を記載しない書式で運用を開始する。